

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・秋冬の商品を客にどれだけきめ細かく品ぞろえできるか、全員で取り組んでいる。行楽客や運動会、お歳暮など取組むべき課題がたくさんあるが、タスポ効果をさらに広げていけば、数字は期待できる。
	やや良くなる	一般レストラン（経営者）	・秋の行楽シーズンのため人の往来が多くなり、ガソリン価格の安定で車での移動がしやすくなる。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ガソリン価格も少し値下がり始め、車の往来がいくらか良くなっているが、購買の方ではまだ回ってこない。
		百貨店（営業担当）	・ここ数か月、低調気味に推移しているため、このまま消費が上がる様子は全くない。
		百貨店（販売促進担当）	・依然として消費マインドの低下が続いていることに加え、郊外に新たなショッピングセンターの進出が控えておりオーバーストア気味なうえ、消費者の購買意欲がわからない現状では、売上が上がる、景気が良くなる見込みがあまりない。
		スーパー（販売促進担当）	・客の価格志向が、競合店との価格競争により再び強くなっている。低価格の店に客が集まり、利益的には非常に厳しい状況が続いている。今後もこの傾向は続く。
		スーパー（統括）	・一気に涼しくなりそうと、秋冬の商品が売れているが、食品に対する不安から、プラスマイナスゼロである。
		コンビニ（店長）	・タスポ効果で7月よりたばこの購入客が約5割増えている。客の様子では、当分タスポカードを作るつもりはない人が多数を占めているため、この状況はまだ続く。しかし、一般商品の買上件数は、値上げや事故米の影響で増加は見込めない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新車の商談件数が非常に少なく、中古車も相変わらず単価の低い引き合いが続いている。良質車を探すのに神経を使っている。
		乗用車販売店（販売担当）	・当店1軒だけ頑張って展示会をやったり車検の案内を出してはいるが、観光地のホテル関係、地元の商店街の落ち込みがひどく、今後2～3か月先は良くない状態が続く。
		住関連専門店（仕入担当）	・衝動買いの傾向が減り、必要な物を必要なだけ、なるべく安い価格で、という消費傾向が加速している。今後、冬物の平均単価も低下する。
		一般レストラン（経営者）	・輸入食品への不安が地元食材を売りにしたメニューに目を向ける傾向にある。
		遊園地（職員）	・原油価格の値下がりや有料道路料金の一部値下げ等、当社にとって追い風となる要素はあるものの、依然として消費は冷え込んでおり、厳しい状況は続く。
		ゴルフ場（従業員）	・単価の動きは依然横ばいで変わらない。来客数に関しても同様の動きで変わらない。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・ゾーンごとにある程度の方策、改良、リニューアルをしたところは伸び、しなかったところは確実に落ちるため、来客数、単価とも変わらない。
	その他サービス〔清掃〕（総務担当）	・秋の行楽シーズンで運動会等があり、12月にはボーナスが支給され景気回復の良い要素はあるが、支出は最大限節約するため、状況は変わらない。	
	設計事務所（所長）	・今月依頼のあった件数が多いので、そのまま2～3か月受注につながれば、しばらくは安定する。	
	住宅販売会社（経営者）	・最近は大手不動産業者が倒産しているため、客がかなり慎重になって買い控えをしている。	
	住宅販売会社（従業員）	・原価、経費共にコストダウンの要因が見当たらない。	
	やや悪くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節商品、暖房機器の拡売、年末商戦を期待したいところであるが、灯油価格の沸騰により暖房機器の買増しの見込みがない。生活用品消費も買い控えが見られる中で、デジタル機器の購入見込も不透明なため、全体的に明るい要素が見られない。
百貨店（営業担当）		・当店は熟年、年配者の客層が多いので、年金問題、あるいは消費に直接結び付くような物価高と、状況は非常に良くない。	
百貨店（販売促進担当）		・今後、冬物衣料の実売期に入って行くが、売上の核を占める比較的単価の高い防寒、重衣料の売上也現状の様子では期待できない。来客数が減っているなかで客単価が稼げないのは致命的である。	

		スーパー（総務担当）	・アメリカを中心とした株価の不安定など、世間的にも景気動向について良くなるという要素が全く見えず、逆に下向きの要因が非常に多い中で、来客数や景気がこれから良くなるようには見えない。
		スーパー（統括）	・サブプライムローン問題等の金融不安により、原油、穀物相場の高騰は更に加速し、ボーナスも減少が予測されることから、消費マインドは冷え込み、財布のひもは更に固くなる。
		衣料品専門店（店長）	・商圏内の郊外型、大型ショッピングセンターの影響を受け、中心市街地の商業施設の来客数はますます減少する。
		衣料品専門店（統括）	・当店で一番販売量のある時期であるが、客の動きが大変鈍く、これから先も人出があまり期待できない。
		観光型ホテル（営業担当）	・燃料代はようやく落ち着いてきたものの、前年と比較すると大幅な値上げであり、当地のような寒冷地では、今後の暖房用の重油や灯油に掛かる費用が企業や家計を圧迫する。
		都市型ホテル（経営者）	・原油高等で地場自動車産業のダメージが大きい上、同業の大手チェーンが開業し、客の取り合い状況にある。分母ばかりが増え今後の見通しは大変暗い。
		都市型ホテル（支配人）	・予約状況が大変悪くなっている。宿泊及び宴会の予約は前年に比べて落ちている。客の出張控え、会食控えが予約状況に表れている。
		タクシー（経営者）	・昼間の動きが悪くなってきたので、この先も悪い。
		ゴルフ場（支配人）	・秋のゴルフシーズンを迎えるが、地元客の平日予約が少なく、また、県外からの申込も行楽地が隣接しているにも関わらず少ない状態である。
	悪くなる	商店街（代表者）	・ますます安売りが激化し、一般品は買い手が減少する。
		商店街（代表者）	・閉店の店がまた1店出ている。前に空き店舗になった店はいまだに入店がない。まだまだ増えそうである。あの店も閉店か、といった風評被害が商店街にとっては大変恐ろしい。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・最近また、優良品店、核となっている店が閉店した。したがって商店街に余計に人が集まらなくなっている。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・消費意欲の減退はまだ底に達しておらず、消費が伸びていく要因が一切見当たらない。
		衣料品専門店（経営者）	・金融不安、原材料の高騰、食への不安等、消費環境は短期的に改善する見込みは無い。また当地においては、夏に3か所の大型ショッピングモールがオープンし、地域中小零細小売業にはその影響がボディブローのように効いてきている。
		住関連専門店（店長）	・各商品の値上がりが続いており、今後も値上げが続くと考えられる。
		スナック（経営者）	・良くなりそうな気配がない。町の中が殺伐としてきている印象がある。この雰囲気では、誰も余分なお金は使わない。
		旅行代理店（従業員）	・秋の旅行シーズンだが、受注量はあまり良くない。
		設計事務所（経営者）	・耐震調査診断業務が来年度も予定され、通常的设计業務での構造事務所への発注に支障が出るとともに、建築士法の今秋の改正により、業務に不安がある。
企業動向関連		良くなる やや良くなる	-
	食料品製造業（営業統括）		・これから本格的な新酒のシーズンに入るが、事故米の影響で食の安全が見直されており、国産のワインは徐々に活気を帯びてくる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・見積件数等が増えてきたので、将来の売上に結び付くことを期待している。
		輸送業（営業担当）	・冬物等の物量は増えているが、燃料の高騰による協力会社のコスト及び人員、車両の削減が目立つ。物量に対して車両の確保が難しくなっている。
		経営コンサルタント	・将来景気のふ揚感がなく、先行き不透明なために、企業活動は委縮し続ける。個人消費も盛り上がりとはほど遠く、中小企業の売上の見通しは厳しい。
	やや悪くなる	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、受注量からみても、特段の変化は見られない。
		食料品製造業（製造担当）	・これから灯油の需要期に入っていくが、前年同様の使用量で価格がこのままだと、利益が出る状態ではない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・用紙の値上げがまた12月にあるという話 coming in。資材等がまた値上げということで、かなり厳しい状況になる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・当社は電動工具の部品を作っているが、アメリカのサブプライムローンの問題で電動工具が売れなくなって、親企業からの注文が大きく減っている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・12月以降の受注の見通しが非常に悪い。

		その他製造業 [環境機器] (経営者)	・行政中心のスプレー缶等、危険物の処理装置を扱っているため、年度の予算で動き、見積り時期の3月から上乘せとなる。
悪くなる		化学工業 (経営者)	・ガス関係の販売が落ち込んできているところに、11月より、仕入原材料の大幅な値上げの通告を受けている。6月に値上げすることができたものの、今回は販売店に転嫁できるかどうか非常に厳しい。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・3か月後より大幅に受注量が減少するという情報が入り、その量は未定であるが、建設機械、自動車部品共に減少することは間違いない。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・年内は増産が見込める取引先がほとんどなく、分野を問わず一斉に悪くなっている印象がある。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先の生産日程から、下期最初の10月は多少生産は増加する予定であるが、11月からの受注予定は、あまり期待できそうにもない。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・特に自動車関連の売上が大きく減少しており、設備関係も全然動かない。
		建設業 (総務担当)	・当地域で10本の指にランクされていた公共工事主体の土木舗装工事業者が倒産した。現況の公共事業発注状況が続くと、今後も同じような会社が後を立たない。
		広告代理店 (営業担当)	・あらゆる商品が値上がりしており、どんどん消費が控えられている。それによって、クライアントである物販店の販売促進の結果が上がらず、今後も広告控えが増える。
		社会保険労務士	・建設不動産関係は需要の落ち込みによりしばらくは厳しい状況が続く。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	・例年今ごろになると忙しい会社だが、今年は大したことがない。
		人材派遣会社 (経営者)	・賃金等の格差もあり、また業種によっても異なるが、ほぼ横ばいか、若干落ちるところもあるであろう。
		職業安定所 (職員)	・新規求人数はほとんどの産業で前年比減少となっている。特にこれまで比較的求人の多かったサービス業においては2か月連続で前年比減少となるなど、景気が上昇する気配が感じられない。
	やや悪くなる	職業安定所 (職員)	・新規求人数が、9か月連続して前年同月を下回って推移していることと、原油高、原材料の高騰に伴い、収益面への悪影響も見られる。
		民間職業紹介機関 (経営者)	・米国市場の悪化から、自動車関連の製造業を中心に、受注キャンセルといった直接的な話が飛び交い、年末商戦向けの製品に悪影響が出ると予測する取引先が多い。
	悪くなる	職業安定所 (職員)	・新規求人が減少傾向にある上に、人員整理の情報がいくつか聞こえてきている。
		職業安定所 (職員)	・アメリカの金融不安からより一層自動車輸出が落ち込む可能性があり、自動車製造業の生産調整が懸念される。よって雇用情勢にも悪影響が出る。